



LINE QR コード

令和5年 1月2日 第459号

# 浄恩寺同朋会報

電話 052-881-8474

南無阿弥陀仏

「本年も、よろしくお願いいたします。」

昨年十一月から、新年一月にかけて、お亡くなりなられる方がとても多く、この会報を作る時間もございませんでした。

ご高齢者の老衰加速、ガン、心筋梗塞、脳梗塞など、突然の発症や急速な悪化が目立っています。四回目、五回目とワクチン接種が進み、その直後に死亡される方々も顕著でした。

接種の翌朝冷たくなっていった。接種三日後、背中腹部に激痛、救急搬送されるも原因不明の敗血症。接種後、気分が優れず学校に登校できなくなり自死された学生。接種後の心筋梗塞、脳梗塞、くも膜下出血され亡くなられた方、カテーテル手術で一命を取り留めた方もみえました。

今、私たちの体内で何がおこっているのか？  
微細な体調の変化を見逃さず、信頼できる医師に相談すべきだと感じました。

この文章を書いているのは一月二十四日です。二十一日にご近所の門徒様の訃報が入りました。すぐに葬儀社に火葬炉の確保を依頼しましたが、二十五日に八事が二炉空いていただけでした。名古屋第二斎場、知北斎場も満床。火葬炉が足りなくなっています。それだけ多くの方々が亡くなられてみえるのです。

昨年のお盆期から、医師、看護師の方々が、お寺にみえるようになりました。その度に、医療現場の現状、ワクチン接種の見解をお聞きしました。ほとんどの医師看護師は、三回接種で止めると断言されました。  
「健康維持の工夫してみえますか？」  
この問いかけには様々な提案がありました。  
「多かったアドバイスは、自己免疫力をあげることでした。」「ビタミンCのサプリ飲んで、日光浴」「亜鉛サプリ」「腸内環境を整える」

お医者様も、国のワクチン政策に疑問を持ち、自己責任のもと、自分の日常生活、食生活を工夫しながら健康管理を試行錯誤してみえることを学びました。本音を語ってくれた先生方に感謝です。

一月二日、あるお寺から連絡がありました。祖父が、湯船に沈んでいます。主治医に連絡しても通じません。どうしたらいいでしょう？」

冬場に多い入浴時事故です。人ごとではありません。呼吸、心拍を確認、生きていれば、まず湯を抜き、呼吸確保と体温維持。でもほとんどの場合手遅れの状況が多いのが現実です。「救急に連絡してください。」これが私の助言でした。レスキューと救急隊によって搬出、死亡確認後、検死のために東部医療センターに安置されました。お寺に深夜戻り、枕勤めをしました。その後五日後葬儀が勤められました。飾りは新鮮で古式ゆかしい葬儀でした。

## 「ふくたらとお正月気分」

みんなが揃うと、わんこたちも気分が上がり、昼寝もせず頑張りから、家の中が静かになると、ぬけがら状態が味わえました。ちょっとだけ正月気分



